

# 平成25年度 第3次小樽市温暖化対策推進実行計画の推進状況

## 1. 実行計画の削減目標

市の事務及び事業に関する温室効果ガス排出量を平成33年度までに平成23年度比で10%以上削減する。

(計画期間：平成24～33年度)

## 2. 温室効果ガス排出量の削減結果

表1. 温室効果ガス総排出量

(二酸化炭素換算 トン-CO<sub>2</sub>)

	2011(H23)年度	2013(H25)年度	増減量	増減率(%)
温室効果ガス総排出量	34,290	32,012	▲ 2,278	▲ 6.6

表2. 温室効果ガス別・調査項目別の排出量

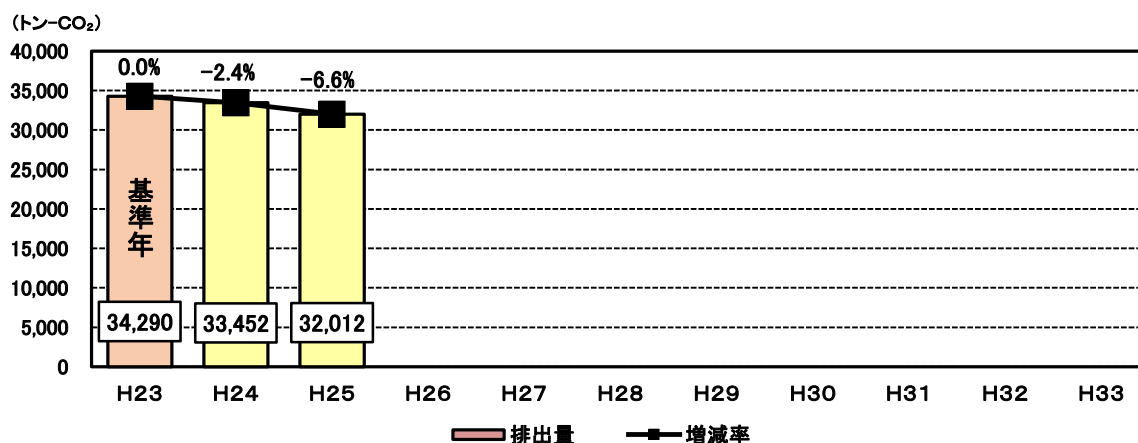
(二酸化炭素換算 トン-CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	調査項目	2011(H23)年度	2013(H25)年度	増減量	増減率(%)	
二酸化炭素	燃 料	ガソリン	271	303	32	11.8
		軽 油	342	283	▲ 59	▲ 17.3
	消 費	灯 油	4,115	3,705	▲ 410	▲ 10.0
		(うち冬季限定排出分)	(4,115)	(3,705)	(▲ 410)	(▲ 10.0)
	A 重 油	7,414	6,527	▲ 887	▲ 12.0	
		(うち冬季限定排出分)	(6,748)	(6,323)	(▲ 425)	(▲ 6.3)
	液化石油ガス(LPG)	90	68	▲ 22	▲ 24.4	
	都 市 ガ ス	1,244	1,929	685	55.1	
	(うち冬季限定排出分)	(268)	(409)	(141)	(52.6)	
	電 気 使 用 量	20,307	18,754	▲ 1,553	▲ 7.6	
(うち冬季限定排出分)	(7,921)	(6,766)	(▲ 1,155)	(▲ 14.6)		
メ タ ン	下 水 処 理	430	431	1	0.2	
	自 動 車 走 行	9	10	1	11.1	
一 酸 化 二 窒 素	麻 酔 剤	65	0	▲ 65	▲ 100.0	
	カ ー エ ア コ ン	2	2	0	0.0	
温室効果ガス排出量		34,290	32,012	▲ 2,278	▲ 6.6	
(うち冬季限定排出分)		(19,052)	(17,203)	(▲ 1,849)	(▲ 9.7)	

※(うち冬季限定排出分)は、その調査項目に占めるロードヒーティング及び暖房からの排出量。

※各項目の排出量を小数点以下で四捨五入しているため、これらを積算しても総排出量にならない場合がある。

図1. 温室効果ガス排出量経年変化



### 3. 結果の評価と今後の取組

#### (1) 結果の評価 ～平成23年度比6.6%減

平成25年度における温室効果ガス排出量は32,012トンで、基準年度の平成23年度と比較すると2,278トン減少し、増減率は6.6%減であった(表1)。また、前年度の平成24年度と比較すると1,440トン減少した(図1)。

温室効果ガス別・調査項目別の排出量(表2)を見ると、電気使用量(1,553トン減)の減少が最も多く、次いでA重油(887トン減)、灯油(410トン減)の順となっている。一方、都市ガス(685トン増)は増加している。

電気使用量が減少した要因については、平成24年度において電力需給がひっ迫し、計画停電を回避するために行われた節電行動(照明の間引き、電気・設備機器の稼働時間の短縮等)が引き続き継続されていることに加え、平成23年度に比べて冬季の平均気温が1.3℃高かったことや春先の雪解けが早かったこともあり、ロードヒーティングの稼働が少なかったことが考えられる(参考1・2)。

A重油及び灯油については、平成23年度に比べて冬が暖かかったことが主な減少要因であるほか、耐震工事等に伴う効率の良い暖房設備の導入、共同調理場の統合、学校適正配置の進展等が考えられる。

都市ガスが増加した要因については、統合前の共同調理場ではA重油を使用していたが、新しい学校給食センターでは都市ガスを使用しているためである。

平成25年度における温室効果ガス排出量は、平成24年度から継続している節電行動や施設管理等の努力、施設の更新や高効率の設備機器の導入等に加えて、冬が暖かかったことにより大きく減少する結果となった。

#### 参考1. 季別排出量

(二酸化炭素換算 トン-CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス総排出量			2011(H23)年度	2013(H25)年度	増減量	増減率(%)
			34,290	32,012	▲ 2,278	▲ 6.6
内 訳	冬季 限定 排出	ロードヒーティング	8,425	7,278	▲ 1,147	▲ 3.3
		暖房	10,627	9,925	▲ 702	▲ 2.0
	通年排出		15,237	14,809	▲ 428	▲ 1.2

※通年排出は、冬季限定排出以外の年間を通して使用される照明、設備等からの排出量。

※各項目の排出量を小数点以下で四捨五入しているため、これらを積算しても総排出量にならない場合がある。

#### 参考2. 気象データ

	平年値	H23年度	H25年度	H23年度との差
冬季平均気温(℃)	-1.7	-3.0	-1.7	1.3
降雪量(cm)	676	680	665	-15
最大積雪深(cm)	122	125	148	23

※冬季平均気温はその年度における12～3月の月間値の平均。

※降雪量はその年度における4～3月の月間値を合算したもの。

#### (2) 今後の取組 ～環境配慮行動の継続、省エネ型設備機器の導入

第3次小樽市温暖化対策推進実行計画における温室効果ガス排出量の削減目標(平成33年度までに平成23年度比で10%以上削減)を達成するためには、今後も、職員の環境配慮行動や各施設の適切な温度管理等の継続に加えて、中長期的に見込まれる建物や設備機器の更新時にエネルギー効率の高い設計や機器を導入する必要がある。